

呼吸器内科

診療科名	呼吸器内科（文責者 一和多俊男）
科長名	一和多俊男
診療科概要	<p><目標> 1,呼吸器感染症・閉塞性肺疾患・間質性肺炎・アレルギー性疾患・誤嚥性肺炎などの呼吸器良性疾患のEBMに基づいた診療の習得（ただし、呼吸器外科と同じ病棟で呼吸器センターとして診療しており、肺癌などの悪性疾患の基本的な診療を経験することも可能） 2,基本的な画像診断や呼吸機能検査判読能力の習得 3,呼吸器診療に必要な手技（気管支鏡、サーモプラスティ・CT下針生検やトロッカーチューブ挿入など）の習得 4,各種呼吸療法（酸素療法、CPAPやNPPVなど）の習得 5,国内外の学会での発表と投稿</p> <p><特徴> 1,医局員が呼吸器学会専門医・指導医、日本呼吸器内視鏡学会専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医などの資格を有しており、診療と教育環境が充実している。 2,前述したように肺癌などの呼吸器悪性疾患は呼吸器外科が担当しており、主に良性疾患の診療を行っている。 3,睡眠時無呼吸症候群・禁煙外来の専門外来を開設している。 4,肺胞蛋白症に対する全肺洗浄を適時施行している。 5,運動時の患者の呼吸困難など病態を解明のため、呼気ガス分析などを用いた心肺負荷試験を行っている。 6,2014年度から多種職による包括的呼吸リハビリテーションを施行している。</p>
取得可能認定医専門医	日本内科学会専門医・総合内科専門医 日本呼吸器学会専門医 日本呼吸器内視鏡学会専門医 日本アレルギー学会認定アレルギー専門医
指定研修施設の名称	日本呼吸器学会認定施設 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡認定施設 日本救急医学会指導医施設 日本救急医学会専門医施設
プログラム	内科認定医取得に必要な内科全般の知識を取得して、画像診断、肺機能検査、呼吸リハビリテーションを実施し解釈できる。 主に病棟で研修を行う。
1年次	呼吸器内科一般診療の習得
2年次	気管支鏡検査、CTガイド下肺生検などの診断に関する専門手技と呼吸療法（酸素療法、CPAP、BiPA、各種ベンチレーターなど）を習得して実施できる。 外来研修は呼吸器内科一般外来、希望があれば専門外来（禁煙、睡眠時無呼吸症候群外来）を担当する。

3-4年次	専門手技や呼吸管理方法などの指導ができる。 外来研修は主に専門外来を担当する。
進路	基本的に各医師の希望を優先する。 八王子医療センター所属医師として勤務することも可能であるが、他施設での研修も可能である。
指導医のコメント	当院では呼吸器内科、呼吸器外科は呼吸器センターとして診療および教育に当たっている。内科系疾患については、呼吸器感染症、気管支喘息、COPD、アレルギー性肺疾患、肺腫瘍に対する診断手順と標準的な治療法が行えるようになる。外科系疾患については、呼吸器外科の連携により、診断から治療まで総合的に理解できるような大きな利点がある。また、当医療センターは救急医療が充実しており、緊急な診療を要する多岐にわたる疾患習得することが可能である。当科の研修に対する基本方針は、呼吸器全般の診療を行えて、患者に信頼される良医の育成である。
スタッフ紹介	一和多俊男 日本大学医学部大学院1980年卒 日本内科学会認定医、日本呼吸器学会専門医・指導医・代議員、日本呼吸器内視鏡学会指導医・代議員、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会理事、日本気管食道学会幹事、ATS・ERS会員、日本医師会認定産業医
	寺本信嗣 山形大学医学部1986年卒 東京大学大学院平成5年終了 日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医、日本老年医学会専門医、アメリカ内科学会（ACP）会員、ATS・ERS会員、ACCPフェロー（FCCP）
	清水谷尚宏 東京医科大学1995卒 日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会指導医、日本アレルギー学会認定アレルギー専門医、日本医師会認定産業医・健康スポーツ医
	石田学 北里大学2008年卒 日本内科学会認定医 日本内科学会総合内科専門医 日本呼吸器学会専門医
	内海健太（非常勤）東京医科大学1987卒 日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会指導医、日本医師会認定産業医、インфекションコントロールドクター（ICD）、肺がんCT検診認定医、結核抗酸菌症認定医、プライマリーケア認定医
週間スケジュール	
月曜日	病棟回診、SAS外来、禁煙外来、気管支鏡検査
火曜日	病棟回診
水曜日	病棟回診、SAS外来、禁煙外来、気管支鏡検査、全肺洗浄
木曜日	病棟回診、SAS外来
金曜日	病棟回診、（運動負荷試験）
土曜日	病棟回診